

ALS 当事者による“電子機器や IT 機器を用いない コミュニケーション支援方法”講習会



ALS 等の難病患者は、呼吸器の装着により発話によるコミュニケーションが難しくなります。でも本当は目の前にいる人に直接挨拶をしたい気持ちをくっくらえています。パソコン等の機械を介したコミュニケーション方法はもちろん大切ですが、ある一定の方法さえマスターすれば機器を用いずともコミュニケーションをとることが可能です。また、この方法は ALS 等の難病患者に限らず多くの疾患に応用できるといわれています。是非、この機会に“電子機器や IT 機器を用いないコミュニケーション方法”を学んでみませんか？
当日は秋田県在住の ALS 当事者、安保瑠女氏が講師として参加、コミュニケーション体験も行えます。また、北海道からも ALS 当事者であるコミュニケーション支援委員長の深瀬和文が、応援で駆け付けます！

「口文字」「透明文字盤『あかさたな法』」をご存じですか？

「口文字」とは、当事者が口の形を「あ・い・う・え・お」と母音の形を作り、それを読み手が把握し「あ」の口をしていけばその後「あ・か・さ・た・な・は・ま・や・ら・わ」と声にだし、当事者は伝えたい文字のところで瞬き等の何らかの合図をして言葉を作り、伝える方法です。

「透明文字盤『あかさたな法』」とは、当事者と読み手がこの文字盤を挟んで、目線があったところが伝えたい文字になります。「口文字」と同じように、この連続により、複雑な内容でも伝えることができます。yes のサインさえわかれば誰でも簡単にトライすることができます。



わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
	り		み	ひ	に	ち	し	き	い
を	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
	れ		め	へ	ね	て	せ	け	え
ん	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

※50 音表を横にスラスラ言えるように練習しておくことで、より体験がスムーズになります。

※講習会は“電子機器や IT 機器によらないコミュニケーション支援方法”を知ってもらう目的で開催いたします。今後もっと学びたいという方のために、継続して当事者と体験ができる個別講習会を 6 回程度予定しております。内容、予定共に確定次第引き続き告知いたしますのでよろしくお願いいたします。

- 日時 2018 年 10 月 31 日 (水) 14:00 ~ 15:00
- 会場 独立行政法人国立病院機構 あきた病院 2F 大会議室
- 住所 〒018-1393 秋田県由利本荘市岩城内道川字井戸ノ沢 84-40
- 対象 あきた病院院内スタッフ・当事者・ご家族・医療関係者・ご興味のある方
- 内容 ALS 当事者による「あかさたな法・文字盤・口文字」講習会
- 主催 一般社団法人日本 ALS 協会
- 共催 独立行政法人国立病院機構 あきた病院 / 日本 ALS 協会 秋田県支部
- 参加費 無料
- 申込み/問合せ 【あきた病院スタッフ、入院患者ご家族様】
TEL: 0184-73-2978 (地域医療連携室 医療社会事業専門員 戸沢)
【その他の皆様】
E-mail: als.komyu@gmail.com (日本 ALS 協会 コミュニケーション支援委員 本間)
※お名前・ご住所・連絡先をご記載ください

